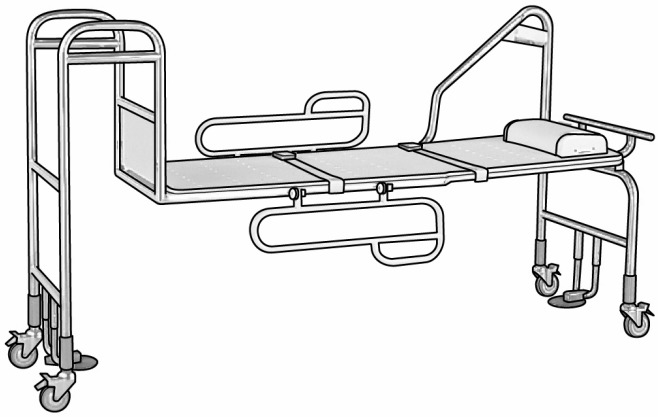
SAKAImed

取扱説明書

エレベール専用

ゲート型ストレッチャー

WT－720αR／L



✱このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。

✱「取扱説明書」は
・1部を現場用として、常に参照できる状態を保ってください。
・1部を保存用として、大切に保管してください。

01-103⑧KZ

もくじ

安全上のご注意 …… 3
各部の名称 …… 5
ご使用になる前に …… 6
　適用製品 …… 6
　入浴の操作方法 …… 6
操作方法 …… 6
　背もたれ部のリクライニング …… 6
　担架自動リクライニング …… 7
　サイドフェンス …… 8
　キャスター …… 8
　安全ベルト …… 9
　スライド式枕 …… 9
　担架上の作業手順と注意点 …… 10
　浴槽へのセット …… 11
お手入れの仕方 …… 12
機器の保守・点検について …… 12
保証とアフターサービス …… 13
仕　様 …… 14

用途

本製品は、当社浴槽『エレベール』(CEL-720)専用の入浴用ストレッチャーです。浴槽と組み合わせて使用します。

特長

- **入浴姿勢を保つ自動リクライニング**
  浴槽上昇とともにリクライニングする自動リクライニング機能を備えています。
- **軽量で操作性が良い**
  浴槽にセットする際、案内円盤が確実にセットされる安全設計です。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項をよくお読みのうえ、
必ずお守りください。

注意事項を次のように区分しています。

⚠危険 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠警告 ・・・ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠注意 ・・・ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

絵表示の意味

禁　止：してはいけない「禁止」内容のものです。

強　制：必ず実行していただく「指示」内容のものです。

ストレッチャーの作業

⚠ 警告

入浴中の入浴者の状態に注意
水没等が発生しないように、常に観察してください。

担架からの落下に注意
入浴者を担架上で起こすときや背中を洗身する際は、落下に注意してください。

担架上で入浴者の姿勢を変えるときは、手足の指に注意
手足の指が担架の隙間等に挟まっていないか確認してください。挟まったままで姿勢を変えたりするとけがをする恐れがあります。特に足先が拘縮や麻痺で変形している人には注意が必要です。

担架上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意
狭い担架上での移乗・洗髪・洗身作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。体位変換作業は、必ずサイドフェンスを起こしたまま行い、入浴者の落下を防止しながら十分注意して作業をし、洗身時はベルトを使用してください。

⚠ 注意

浴槽上昇の際、手足に注意
手足が担架の外に出ていると、ストレッチャーと浴槽の間に挟まれる恐れがあります。

入浴時にストレッチャーを、正しくセットする
正しくセットされていないと浴槽上昇時に浴槽と接触する恐れがあります。

ストレッチャーの移動は、ゆっくりと
入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。

⚠ 警告

ロック確認
背もたれ部を起こしたときは、リクライニングストッパーが確実にロック穴に入りロックされていること、またリクライニングロックによりリクライニングストッパーの横ずれが確実に防止されていることを確認してください。
ロックがかかっていない場合、背もたれ部が落下しけがをする恐れがあります。

リクライニングを行う際は入浴者の手に注意
- サイドフェンスや担架フレームとの間に、入浴者の手が挟まれると、けがをすることがあります。
- 腕が担架の外に出ていると、フレームと背もたれ部の間に挟まれる恐れがあります。必要に応じて腕支えベルトを利用し、安全を確保してください。

リクライニングロックの解除を確認
リクライニングロックをかけた状態で浴槽を上昇させると、自動リクライニングが作動せず、浴槽を破損する恐れがあります。

サイドフェンスのロックを確認
ロックが不十分な場合、落下など事故につながる恐れがあります。

担架に乗せたら、必ず 2 本の安全ベルトを使用する
ベルトをしなかったり、ベルトの固定が適切でないと、足が浴槽との間に挟まれたり、身体がずれて落下したり、ベルトで擦れてけがをする恐れがあります。

安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない
移乗などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますので、とっさの対応が出来るように入浴者のそばから離れないでください。体位変換後や移乗後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

皮膚の弱い入浴者の場合接触部分にタオル等を使う
皮膚が薄くなり、弱くなっている入浴者の場合には、安全ベルトやマット角部等への軽微な擦れで皮膚がけがする恐れがあります。入浴中や入浴後はさらに皮膚が柔らかくなってけがをしやすくなりますので接触部分にタオル等を巻いてください。

停止しているときは、必ずキャスターをロックする
キャスターがロックされていないと、ストレッチャーへ移乗や入浴・洗身・清拭時などに、ストレッチャーが動いて入浴者が落下する恐れがあります。

⚠ 注意

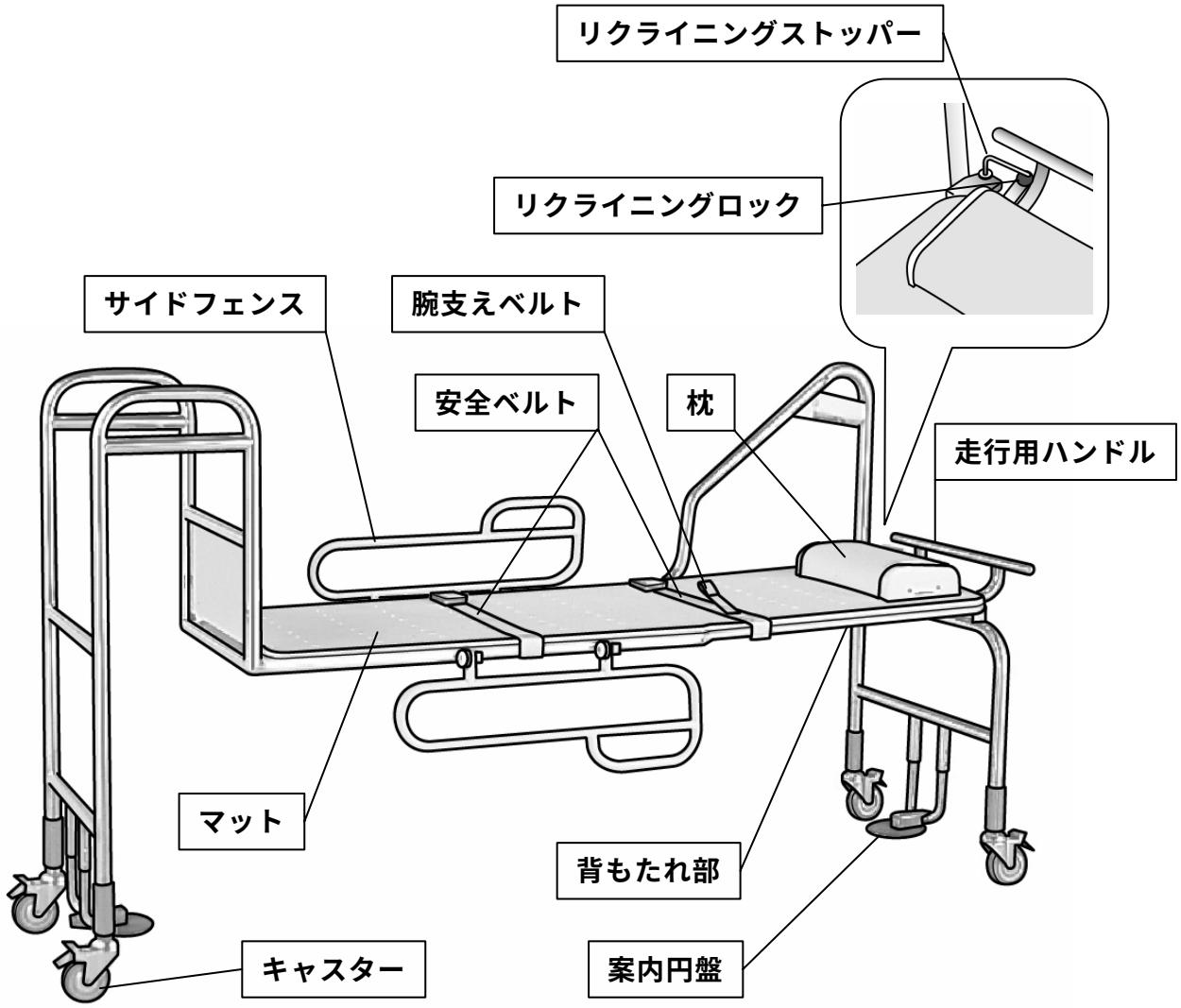
ストレッチャーを移動するときは必ずサイドフェンスを上げる
サイドフェンスが下がったまま移動すると、浴槽にサイドフェンスが当たります。

サイドフェンスを操作するときは入浴者に注意
セットしたり、戻したりするときに、入浴者に当てたり、手や指が挟まれる恐れがあります。

安全ベルトの損傷に注意
ほころび始めたり、切れかかってきたり、マジックベルトの接合力が弱くなってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。また、ほころびた部分で皮膚が傷つく場合がありますので注意してください。

担架マットの損傷に注意
古くなって破れたり、マット止めピンがマットから浮き出してきたら、新しいものと交換してください。マット止めピンの浮き出した部分で、入浴者がけがをする恐れがあります。

各部の名称



図は WT-720αL

● 構成

ゲート型ストレッチャー　WT-720αR/L

- ・本体（サイドフェンス付）R タイプまたは L タイプ　……1 台
- ・マット　……1
- ・安全ベルト　……2 組
- ・枕　……1

（付属品）

- ・腕支えベルト　……1

ご使用になる前に

ご使用前に本製品について P.12 の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

適用製品

本製品は、当社浴槽『エレベール』(型式 CEL-720)専用のストレッチャーです。
入浴には必ずエレベールとの組み合せで使用してください。

入浴の操作方法

浴槽の操作方法については、『エレベール』の取扱説明書をお読みください。

●ご使用中に…

万一故障が発生したら、ただちに入浴者を安全な場所に退避させた後、使用を中止して最寄りの営業所へご連絡ください。

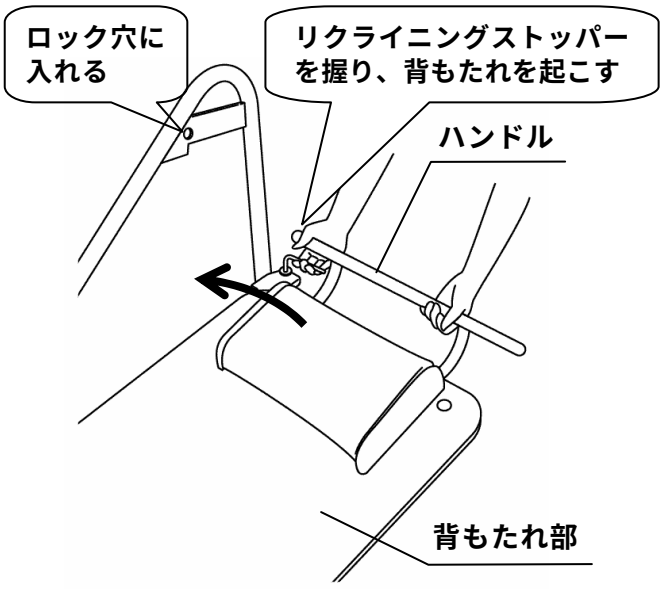
操作方法

背もたれ部のリクライニング

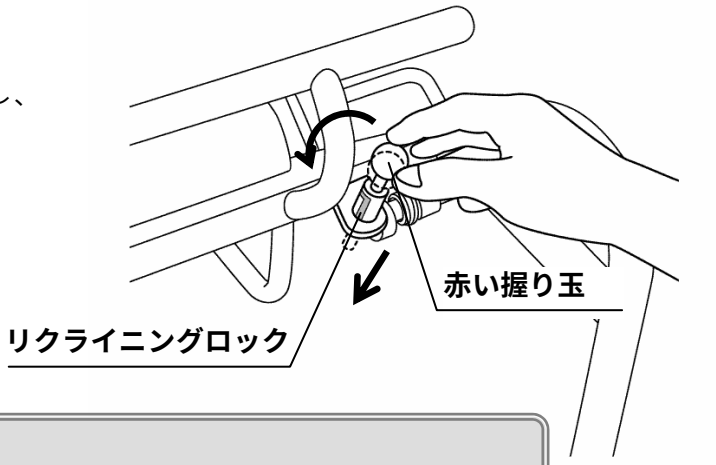
担架の背もたれ部は、水平(0°)及び傾斜(36°)の 2 段階に調節できます。

背もたれを起こす場合

1 リクライニングロックがかかっていないこと（赤い握り玉が上がっている状態）を確認します。
2 リクライニングストッパーを握りながら、ハンドルを持って背もたれ部を起こします。
3 傾斜(36°)の位置でリクライニングストッパーを離し、ストッパーをロック穴に入れます。



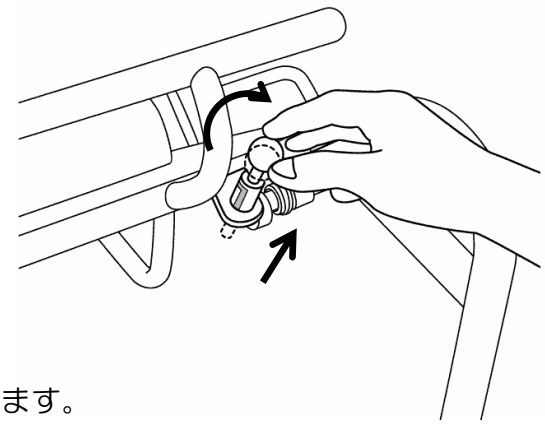
4 リクライニングロックをかけます。
赤い握り玉を反時計回りに約 90° 回し、
下方へ押し込みます。



⚠警告　ロック確認

リクライニングストッパーが確実にロック穴に入りロックされていること、またリクライニングロックによりリクライニングストッパーの横ずれが確実に防止されていることを確認してください。
ロックがかかっていない場合、背もたれ部が落下る恐れがあります。

背もたれを倒す場合



1 リクライニングロックを解除します。
赤い握り玉を引き上げ、時計回りに約 90°
回します。
2 ハンドルを下側より握り、体重をしっかり
と支えながらリクライニングストッパーを
握り、ロック穴から解除します。
3 背もたれ部をゆっくりと水平になるまで下げます。

参考　ロックを解除する場合には、背もたれ部をやや上方に持ち上げるとストッパーを軽く抜くことができます。

⚠注意　リクライニングを行う際は入浴者の手に注意

担架自動リクライニング

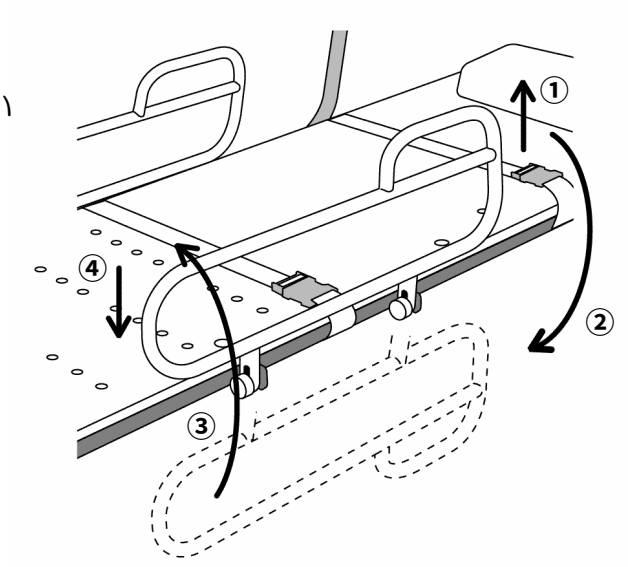
1 リクライニングロックを必ず解除にしておきます。
2 背もたれ部を水平にしたまま担架を浴槽にセットします。
3 浴槽を上昇させると浴槽の縁が背もたれ部を押し上げます。

手動で背もたれ部を起こしている場合は、自動リクライニングは作動しません。

⚠警告　・入浴者の腕の挟み込みに注意
・リクライニングロックの解除を確認

サイドフェンス

移乗は片側のサイドフェンスを倒して行います。移乗と反対側は倒さないでください。



下げるとき

サイドフェンスを両手で①引き上げ、ロックを外し、外側に②回転させます。

上げるとき

サイドフェンスを③回転させ、垂直の位置で静かに④下げ、サイドフェンスをロックさせます。

⚠警告　サイドフェンスのロックを確認

ロックが不十分な場合、落下など事故につながる恐れがあります。

⚠注意　・ストレッチャーを移動するときは必ずサイドフェンスを上げる
・サイドフェンスを操作するときは入浴者に注意

キャスター

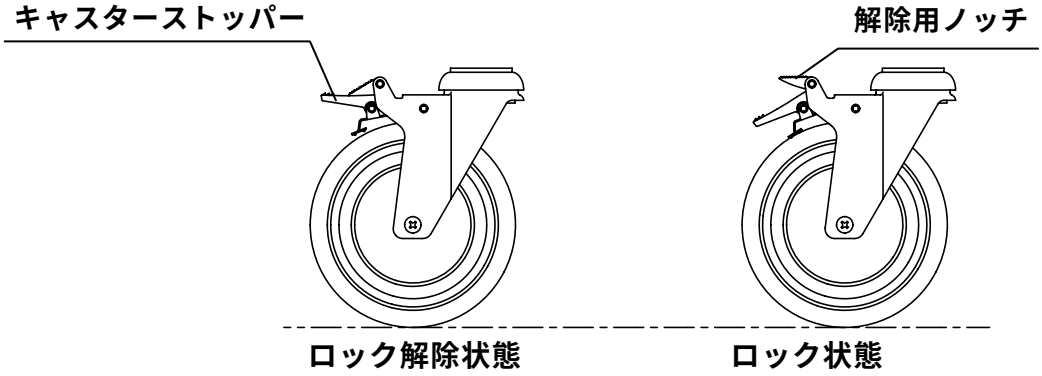
ロック

4 輪ともキャスターストッパーを踏みます。

移乗作業、洗浄作業、清拭作業時等のように担架上で作業をするときは、必ずロックを掛けてください。

解除

解除用ノッチを踏みます。

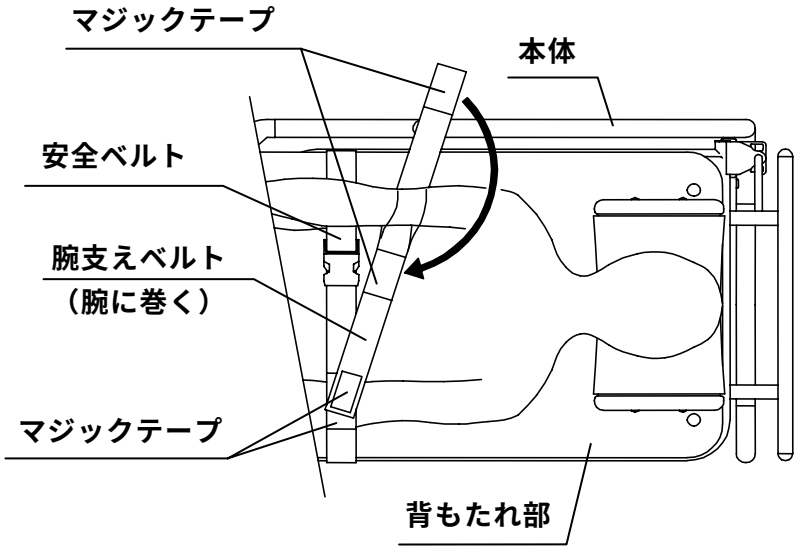


⚠警告　停止しているときは、必ずキャスターをロックする

ロックされていないと、ストレッチャーが動いて入浴者が落下する恐れがあります。

安全ベルト

- 担架へ入浴者を移乗させたら安全ベルトのバックルをはめ、入浴者に合わせ、長さを調節します。腹部と下肢部の２か所のベルトを着用して調節してください。
- 上半身側の安全ベルトには、入浴者の肘がストレッチャー本体と背もたれ部の間に入ることを防ぐために腕支えベルトを取り付けることができます。必要に応じて（腕の拘縮等）ご使用ください。



警告　・担架に乗せたら、必ず２本の安全ベルトを着用する

ベルトでの固定が適切でないと、入浴者が落下してけがをする恐れがあります。

・安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない

ベルトを外すと、入浴者が落下する恐れがあります。

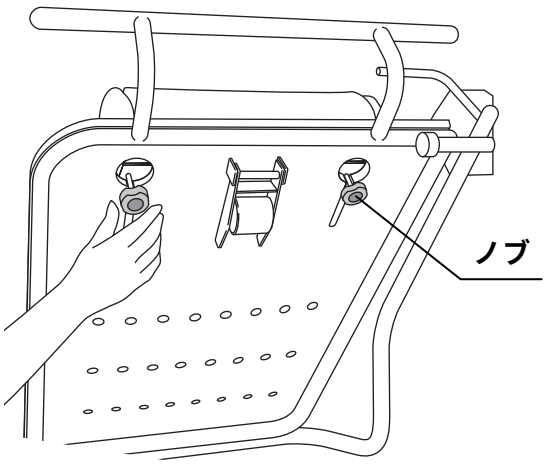
注意　安全ベルトの損傷に注意

スライド式枕

位置調節

背もたれ部裏側にあるノブを緩めることにより、枕を上下に８㎝スライドさせることができます。

位置を決めたらノブを回して固定します。



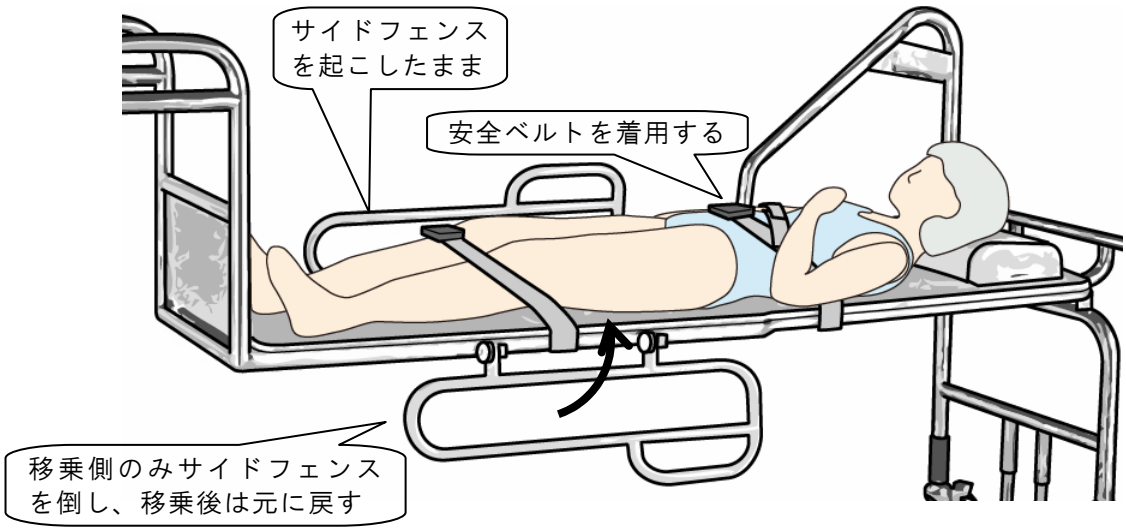
枕の着脱

背もたれ部から枕を取り外す場合は、ノブを緩め、丸穴部までスライドさせ抜き取ります。

担架上の作業手順と注意点

担架へ入浴者を移乗させるとき

1 ストレッチャーを平らな安全な床面に停止させキャスターのロックを掛けます。
2 移乗はリクライニングを倒した状態で行います。
3 移乗する側のサイドフェンスを倒します。移乗と反対側のサイドフェンスは、起こしたままにして入浴者の転倒・落下に注意しながら作業をします。
4 移乗後は、安全のため必ず安全ベルトを着用して、サイドフェンスを元に戻してからストレッチャーの移動をします。



担架上で洗髪・洗身を行うとき

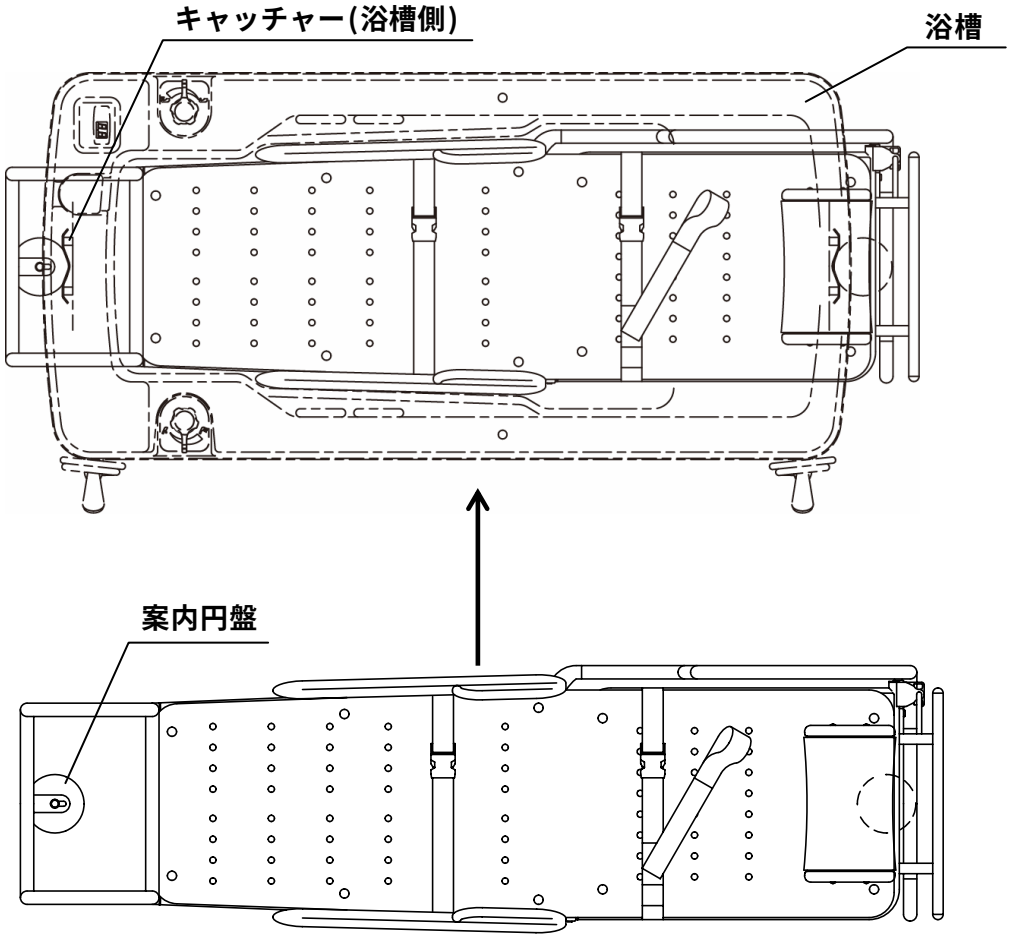
1 ストレッチャーを平らな安全な床面に停止させキャスターのロックを確認します。
2 狭い担架上での体位変換作業は、必ずサイドフェンスを起こしたまま行い、入浴者の落下を防止しながら注意深く作業します。
3 安全ベルトは、少し余裕をもった長さに調節して、必ず着用します。

警告　担架上での移乗・洗髪・洗身作業時の注意
狭い担架上での作業は入浴者の転倒や落下の恐れがあります。十分注意して作業を行ってください。

浴槽へのセット

1 浴槽を下限まで下げます。

2 ストレッチャーを浴槽の側面から、ストレッチャーの案内円盤が浴槽のキャッチャーにはまるまで横移動させます。



3 ストレッチャーのキャスターロックをかけます。

4 入浴者の安全を確認後、浴槽を上昇させて入浴させます。

警告　入浴中の入浴者の状態に注意

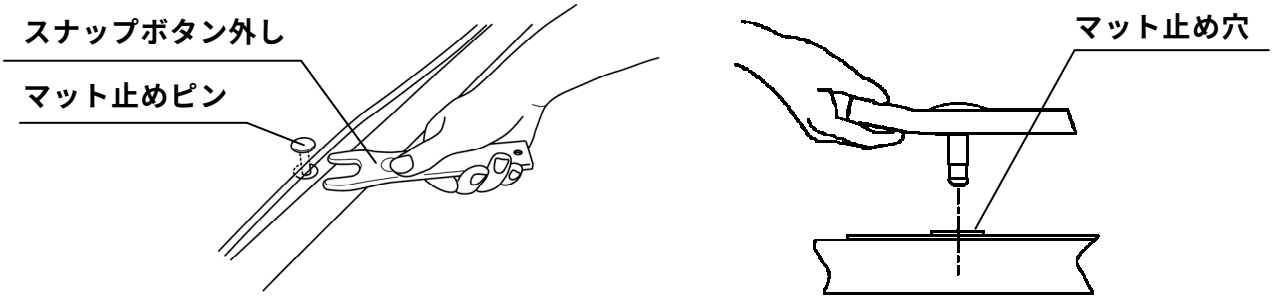
常に観察し、水没等が発生しないようにしてください。

注意　・浴槽上昇の際、手足に注意

・入浴時にストレッチャーを、正しくセットする

お手入れの仕方

- ステンレス部は、水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなります。乾いた布で水滴をきれいに拭き取ってください。
- 担架マットを外す場合には、マットの端を軽く持ち上げ、付属のスナップボタン外しをマットの下に差し込むとマット止めピンが外れます。
  マットを取り付ける場合には、マット止めの穴にピンを差し込んで押してください。



⚠注意　担架マットの損傷に注意

機器の保守・点検について

- 本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検（日常の製品使用前）を実施してください。
- 長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。
- **点検時に異常が発見された場合**は、製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。
- 清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします。

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	安全ベルトのほつれ、バックルの破損	目視
	マットの破れ及びマット止めピンのはずれ	目視(ピンが穴から単に抜け出しているだけのときは押し込んでください)
	キャスターの緩み、ガタつき、抜け出し、車輪の摩耗	目視 及び、触って確認
	背もたれ部・サイドフェンスの緩み、ガタつき	目視 及び、触って確認
機能	リクライニング部のロック	背もたれ部をリクライニングさせ､力を加えてロックが外れないか確認
	キャスターの動き	方向･回転ともスムーズに動くことを確認
	キャスターのロック	キャスターのロックを掛けてキャスターの回転と首振りのロックを確認

保証とアフターサービス

✹ 保証書と保証期間

- 保証書(別添)はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。
- 保証期間は、正常な使用状態で故障した場合、本体フレームは 5 年間、それ以外は 1 年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

✹ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*WT-720α（R/L）*

  お買い上げ年月：　　年　　月

  故障状況(できるだけ詳細に)

  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のあるとき以外は、決して分解しないでください。

✹ 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

✹ 耐用期間

10 年：保守点検などの当社推奨環境で使用された場合

✹ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

  マット(止めピン付) / 安全ベルト / 腕支えベルト

- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

  キャスター

点検の時期が来ましたら弊社営業所までご用命ください。点検して必要により有償交換いたします。

✹ 保守部品の保有期間

保守用性能部品の保有期間は、販売中止後 10 年です。ただし、性能部品が製造中止などにより入手不可能になった場合は、保有期間が短くなる場合もあります。

仕 様

●ゲート型ストレッチャー

型　式		WT-720α(R,L タイプ)
外形寸法(L ×W×H)		2210×640×1210 mm
質　量		約 62 kg
材質	フレーム	ステンレス・ミガキ仕上
	担架	ステンレス・ミガキ仕上
	担架マット	合成ゴム
	サイドフェンス	ステンレス・一部粉体塗装仕上
キャスター		φ100 mm(個別ロック付)
付属品		腕支えベルト、スナップボタン外し

注）都合により予告なく仕様の変更を行う場合があります。